



# 赤嶺ヶ丘

12月号

平成30年12月10日(水)発行

〒894-0622 奄美市笠利町大字笠利1924番地

TEL 0997-63-8114



文責：学校園ですくすく育つ野菜。鍋がおいしく感じる季節になってきたなとしみじみ感じる牟田

## 行事を通して学ぶ

校長 崎山 至

2学期が充実した行事を通して終わりに近づきました。行事に追われ、あっという間に過ぎた感があります。今学期の大きな行事である体育大会も文化祭も昨年度の反省からいろいろと工夫がなされました。なによりも生徒たちが行事を終えて大きな達成感を体得していたことをうれしく思います。行事を消化するのではなく、その行事を通して「何を学ぶのか」をしっかり見つめることが大事だと思います。その意味でも様々な行事に、学校として職員及び生徒が丸一となり取り組んできたことを自負します。

学校行事ではありませんが、先日開催され私が個人的に関わった第13回奄美市少年剣道大会・碩山杯争奪戦(会場：太陽が丘総合運動公園体育館)について感じたことを紹介したいと思います。この大会要項の冒頭に「本大会の由来」がのっておりましたので、以下抜粋します。

『本大会は旧笠利町時代に笠利町剣道連盟により、笠利町少年剣道大会として発足した。平成14年、記念すべき第30回笠利町少年剣道大会より、教士八段碩山 哲弘(笠利町出身)のご厚意により碩山杯争奪戦と銘打たれ開催される。

平成11年9月28日に当時、大学剣道部1年生だった碩山先生のご子息、国寛さんが不慮の事故により帰らぬ人となった。国寛さんは、幼少より剣道を習い、高校時代は埼玉県代表として国体やインターハイ個人戦にも出場しており、19歳の長男を失った碩山先生ご家族の悲しみは計り知れない。二度と同じ過ちがおこらぬよう、奄美の子どもたちが剣道を通して強く正しく育まれることと、剣道指導者を目指したご子息、国寛さんが果たせなかった夢を重ね合わせ、交流稽古会・交流大会を平成13年12月に開催し、平成14年12月の大会より「碩山杯争奪戦」として開催される。・・・後略』

今大会には島外から40名余り、奄美支部連盟から30名近い方々が役員・審判として参加しています。私も、合同稽古会や審判に関わりました。まず感動したことは、碩山先生のご意志に賛同する方々が、遠方から参集していることです。碩山先生は現在病氣療養中で、参加を断念しているにもかかわらずです。関東を中心に警視庁剣道指導者やキャノン、JAL、京大OB剣道、個人的な師弟関係などそうそうたるメンバーが来島しました。(地元新聞で紹介)先生の「想い」によって人間がつながる絆の深さを改めて実感させられました。稽古会で指導してくださった講師の方は、「奄美の子どもたちは、目の輝きがすばらしい」この子たちを、剣道を通してしっかりと育てたいと話していました。

失意の中からご子息のご意思を何とか生かそうと、郷土のために尽力している碩山先生の想いを多くの方々が支えています。これは先生の手ほどきを受けた方々が「交剣知愛」の精神で、先生の恩に報いたいと願い、そのことがこんなに多くの人たちを動かしているのだと思いました。また、温かく受け入れている郷土の人たちの魅力も、そのことを支えていると思います。

学校でも生徒たちに、行事本来の精神を伝えていく作業を大切にに取り組んでいきます。

## 道徳の研究授業を行いました！！

11月26日(金)に道徳の研究授業を行いました。来年度(平成31年度)から「特別な教科 道徳」が完全実施されます。奄美市教育委員会の西國原指導主事にお越しいただき、研究授業と授業研究を通して道徳授業の進め方に関する研修を進めるとともに、「特別な教科 道徳」に関する理解を深めました。「特別な教科 道徳」の完全実施により、授業の内容自体は大きく変化しないものの、以下の3点が変わります。①検定教科書の導入②問題解決的な学習や体験的な学習の実施③学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握し、指導に生かす(数値ではなく記述式による評価の実施)です。当日は山に憑かれた(つかれた)男」を題材に、自分の責任や役割を自覚して集団生活の充実に努めるうえで大切なこと」を考えていきました。生徒たちは活発に意見を交換し、それぞれの考えを聞きながら学習を深めていきました。職員にとっても大変有意義な時間となりました。これからもさらに研修を深めていきたいと思っています。



## 日本復帰記念第39回奄美市中学校英語暗唱・弁論大会が行われました！！

11月28日(水)に本校で英語暗唱大会、赤木名中学校で弁論大会が実施されました。英語暗唱大会には3年生の濱崎圭吾さんと中野瑠香さんが、弁論大会には2年の伊瀬知美央さんが出場し、それぞれ優良賞に入賞しました。伊瀬知美央さんは「食品ロス」をテーマに、祖母から学んだ食材を無駄にしないことの重要性を述べました。3人とも大勢の前で堂々と素晴らしい発表をしました。



## 食に関する指導が行われました！！

「1年：自分の食生活に関心を持ち、自己の食生活を振り返る」「2年：成長期においては、栄養バランスのとれた食事が大切であることを知る」「3年郷土奄美の食文化や地場産物に関心を持つ」等を目的として、各学年で食に関する指導を実施しました。1・2年生は笠利学校給食センター栄養教諭の長畑先生(赤木名小学校所属)をお迎えし、1年生は給食の献立を6つの食品群に分類したり、自分の食べている朝食に不足している栄養素を考えたりしました。2年生は、アスリートの食事を題材に、自分たちの食生活を振り返りました。3年生は味の郷かさりから、松元春代さん、里福子さんを講師としてお迎えし、郷土料理について理解を深めるため、「鶏飯」と「がじゃ豆」を作りました。



### 生徒の感想

- 1年： 給食は栄養のバランスが良く考えられており、残さずに食べることが大切だということを改めて考える良い機会となりました。
- 2年： 「強いアスリートになるのであれば、食事管理に気を付ける。」ということです。体を使ったトレーニングだけで強くなるのではなくて食事のアスリートにとっては「トレーニング」であることを改めて知りました。
- 3年： 奄美の郷土料理を継承していくためにも、私たちがまずは作れるようになることが一歩だと思いました。大変勉強になりました。ありがとうございました。

普段自分たちが食べている食事について改めて考える、大変良い機会となりました。3年生が作ったがじゃ豆は、職員にも試食に預かりました。材料は同じはずなのに、各班、それぞれ個性がでており、大変おいしいがじゃ豆でした。家庭でも作ってくれることを期待しています・・・。

## 校内駅伝競走大会を行いました！！

8日(火)に校内駅伝大会を行いました。一昨までは校内持久走大会を行っていましたが、「たすきをつなぐことの楽しさを味わう」、「笠利の地域性」等を考慮し、昨年度から校内駅伝大会を実施しています。今年は、2回目の開催ということもあり、沿道からも多くの声援をいただきました。ありがとうございました。結果は、丸田洋介さん率いる黄色組の優勝でした。



## おめでとう！！

英検 準2級：3年 中野瑠香さん 薬と健康の習慣標語コンクール  
3級：3年 鈴倉優哉さん 最優秀賞：2年 榮愛真音さん  
濱崎圭吾さん 優秀賞：3年 丸田洋介さん  
肥後悠希菜さん アイデア賞：3年 中野瑠香さん  
丸田洋介さん

漢検 3級：1年 山下ひなたさん 第22回奄美短水路年齢別水泳選手権大会  
2年 伊瀬知美央さん 100m自由形 中学生クラス 2位：2年 永田侑希さん  
3級 中野瑠香さん 100mバタフライ 中学生クラス 2位：2年 永田侑希さん  
4級 2年 並木花萌さん  
第59回日本復帰記念大島地区駅伝競走大会出場 2年 永田侑希(区間2位)



## 12・1月の主な行事

12	15 土	青少年育成の日	12	25 月	冬季休業	1	10 木	書初め⑤⑥
	16 日	家庭の日 市民総ぐるみ清掃活動		28 金	仕事納め		16 水	ノ一部活動デー 1・2年学習定着度調査
	19 水	ノ一部活動デー	1	4 金	仕事始め		17 木	1・2年学習定着度調査、3年PTA スマホ・携帯安全教室
	20 木	クリスマスフェスタ 音楽発表会		8 火	始業式		20 日	家庭の日 市民清掃の日
	21 金	終業式		9 水	3年実力テスト(～10日)		21 月	立志への取組(2年)

